



活気ある地域を目指して
婦人のつどい開催!



▲今富婦人会（上）、西津婦人会（中）、小浜婦人会（下）

▲各地区の婦人会がこの日のために練習を重ねたダンスやコーラスなどパフォーマンスを披露。写真は雲浜婦人会(文化会館・2月10日)



「竜」飾り安全祈願

▲勸請の綱を集落の入り口に飾り一年の無病息災と五穀豊穡を祈る伝統行事「二十日講」（荒木・1月20日）



おにはそと！
ふくはうち！

▲節分の日を前に市内保育園で豆まき。松永保育園では園児36人が鬼を撃退（松永保育園・2月1日）



伝統の弓打ち神事

▲区内安全と無病息災を祈って、次吉区で厄払いの弓打ち神事（一言神社・2月1日）



アマモ里親大作戦

▲学生40人と地域住民20人が、海をきれいにするアマモを育てるキット作りを体験（小浜水産高校・1月26日）

まちの話だい
フオトニュース

3 | 2013
March

2/11 お水送りを支える人々



神宮寺で伝統行事のお水送りを前に、山河住職や地域住民、観光協会など関係者による、「鶴の瀬講」が行われ、参加者たちは行事の歴史や準備状況などを確認しました。今年もお水送りは3月2日に開催。18時30分から神宮寺で達陀が始まり、20時30分頃に鶴の瀬で送水神事が行われる予定です。

1/26 内外海のたからものを発表



内外海小学校による学習発表会「発信！内外海のたからもの」が働く婦人の家で行われました。市内小学校が校外で学習発表会をするのは初めての試み。児童たちは学年ごとに、昨年1年間の活動を、歌や踊り、演劇などを交えて発表し、集まった約300人の来場者からは大きな拍手が送られていました。

2/6 小浜市沿岸域総合管理研究会



漁業、林業などの各種団体や有識者、行政機関など関係者21人が参加して沿岸域総合管理研究会を開催しました。同研究会は、海洋環境の悪化や水産業が衰退している現状を踏まえ、平成24年3月に発足。「海を生かしたまちづくり」の実現に向けて、さまざまな分野から活発な意見が交わされました。

1/26 文化財愛護少年団結成式および文化財防火訓練



明通寺(門前)を拠点に、さまざまな文化活動を行う文化財愛護少年団「小浜市の宝を守ろう会」が発足し、結成式が行われました。市内の小学生の団員20人が参加し、防火訓練や初期消火訓練を実施。同少年団は、子どもたちに歴史文化への愛着や郷土愛を深めてもらうのが目的で、今回の結成は国分、竜前に次いで3例目です。